

京都大学 高等教育研究開発推進センター

第73回 公開研究会

Faculty Development

FD のダイナミックス

●報告

絹川 正吉 氏 (国際基督教大学・元学長、名誉教授)

井下 理 氏 (慶應義塾大学総合政策学部(SFC)・教授)

●司会・コメント

田中 每実 (京都大学高等教育研究開発推進センター・センター長)

【日時】: 2006年10月7日(土) 午後3時~5時

【場所】: 京都大学吉田キャンパス(吉田南構内) 吉田南1号館 1階会議室

参加費無料 (事前申し込みは不要です。どなたでも当日参加できます)

FD (Faculty Development) という、10年前は耳慣れなかった言葉は、今や日本の大学の中で日常語となりました。しかしいかなる概念も、それが広がるにつれ変質し空洞化するように、FD に関しても、資源と余裕なきところを教員の個人的努力で何とかする研鑽の苦役であるとか、極端な場合、単なる大学教員の質の管理として誤解されているケースさえあります。今こそ、これまでの FD が歩んできた道を振り返り、今後私たちが進むべき方向性について、理念的にも実践的にも先を見据える作業が必要となります。

今回お迎えする絹川正吉氏は、国際基督教大学(ICU)で8年間学長を務めるあいだ、重要な教育改革に携わってこられました。また大学教育学会では5年間会長を務められました。現在は、文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム実施委員会」委員長として、理論的にも実践的にも、日本の大学教育改革の中心的存在です。いっぽう井下理氏は、SFCでその開設(1990年)以来、授業評価をはじめ教育改革の実質的な責任者として活躍され、大学セミナーハウスのFD活動や大学教育学会でも、先駆的な教育改善活動を組織化してこられました。

お二人のお話から日本のFDの約20年の流れを振り返りつつ、これからのFDの方向性と課題に関して、フロアのみなさまも交えつつ検討したいと思います。

主催: 京都大学高等教育研究開発推進センター

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 <http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/>

【アクセス】

JR・京都駅より: 市バス206系統「東山通 北大路バスターミナル」行「京大正門前」下車

阪急・河原町駅、京阪・四条駅より: 市バス201系統「祇園・百万遍」行、もしくは31系統「熊野・岩倉」行、「京大正門前」下車

京阪・出町柳駅より: 市バス201系統「祇園・みぶ」行「京大正門前」下車又は、徒歩約20分

【問い合わせ先】

センター事務・藤田 (yfujiita@hedu.mbox.media.kyoto-u.ac.jp) tel: 075-753-3087 fax: 075-753-3045